様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９－１、Ｚ－１９　（共通）

科学研究費助成事業　　研究成果報告書

令和　６ 年　６ 月 １８ 日現在

機関番号：６４４０１
研究種目：基盤研究(A)（一般）
研究期間：2018～2022
課題番号：１８Ｈ０３５７３

研究課題名（和文）超常認識と自然観をめぐる比較心性史の構築

研究課題名（英文）The Natural and the Supernatural in Comparative Perspective

研究代表者
山中　由里子（Yamanaka, Yuriko）

国立民族学博物館・人類文明誌研究部・教授

研究者番号：２０２５１３９０

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費）　29,300,000円

研究成果の概要（和文）：　「驚異」と「怪異」をキーワードに、既知の世界の境界に立ち現れる身体・音・モノが、ヨーロッパ・中東・東アジアの文献や視覚資料にどのように表象されているかを考察し、その成果を山中・山田共編『この世のキワー＜自然＞の内と外』（勉誠出版、2019年）にまとめた。
　文化事象としての驚異・怪異の事例研究を通して、分析概念としての＜驚異＞と＜怪異＞の意味範囲の「磁場」も明らかにした。すなわち、＜驚異＞とは時間的・地理的・心理的に遠い未知の珍しい事象であるのに対して、＜怪異＞は身近なところでも起こり得る、あるいは見慣れた日常の何かがずれるからこそ異常性が際立つ、常ならざる存在・現象といえる。

研究成果の学術的意義や社会的意義
　学術的な成果としては、東アジアの怪異を ヨーロッパや中東の驚異と対比させた結果、怪異は「自然vs脱自然・超自然」という対置構造の中で理解されるべきでなく、むしろ「常vs異」、もしくは「理vs理外 」（道理vs道理を逸したもの）のせめぎあいとして捉えるべきであると明らかにしたことである。
　また、驚異・怪異の基層にある普遍的な心性メカニズムを探るため、国立民族学博物館等が所蔵する民族資料の分析を通して、超常的な存在や異なるものを人が想像する際のイメージ形成のパターンを検証した。その成果を、2019年秋に同館の特別展「驚異と怪異―想像界の生きものたち」として公開し、期待以上の社会的波及効果を得た。

研究成果の概要（英文）： This project centered around the cultural and analytical concepts of "kyoi" and "kai'i". Kyoi in Japanese is a term which means "marvels" or "wonders", and is used in scholarly research to designate such a genre of texts in the monotheistic world in Europe and West Asia (mirabilia in Latin and ajaib in Arabic). Kai'i, on the other hand, has its roots in the Chinese word guaiyi, or the "strange" and "uncanny", designating anomalous beings and phenomena that were considered as omens of cosmic unbalance and disturbances.
　By juxtaposing these concepts we provided a common platform for researchers of various fields, such as encyclopedism, occultism, and yokai studies, offering an alternative analytical framework for the study of the imaginary. Through case studies on representations of kyoi and kai'i, we reevaluated the concept of the "supernatural" as an Eurocentric ontological category, which may distort essential cosmological principles of pre-modern non-Western cultures.

研究分野：比較文学比較文化

キーワード：驚異　怪異　想像界　自然界　超常認識

※科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９－１（共通）

１．研究開始当初の背景

代表者は、本研究の前段階として、国立民族学博物館共同研究「驚異譚にみる文化交流の諸相ー中東・ヨーロッパを中心に」（2010-2014 年度）と科学研究費基盤研究（B）「中東およびヨーロッパにおける驚異譚の比較文学的研究」（2010-2015 年度）を連動させ、ラテン語で「ミラビリア」、アラビア語・ペルシア語で「アジャーイブ」（いずれも「驚異」という意味）と呼ばれる、辺境・異界・太古の不思議な事物や生き物についての表象を比較し、ヨーロッパと中東の間のモチーフ伝播の過程、世界観の相違、文化交流のダイナミズムなどを検証した。一神教世界を「驚異」という概念を通して包括的に捉えた成果論集『＜驚異＞の文化史ー中東とヨーロッパを中心に』（名古屋大学出版会、2015 年）では、中東イスラーム世界とヨーロッパが共有する文化的な基盤を明確にし、中世にはある程度共有されていた驚異観が、近世から近代にかけて双方の文化圏において異なる展開をみせることを明らかにした。

上記の研究を進める中で、驚異譚の作品群に例えば古代中国の博物誌『山海経』を照らし合わせると、「驚異」に対して「怪異」という概念はどう定義できるのか、知識体系に歴史的な接点はあるのか、それぞれの背景にある自然観はどう違うのかといった問題意識が生まれた。そのための理論的基盤を構築するために開始したのが、本研究である。

２．研究の目的

人類には進化の過程で得た共通の認知機能があるとする人類普遍主義は、文化ごとの特有の心理システムがあるという考えのもとにたつ文化相対主義とは相反する立場の研究としてとらえられがちである。しかし、この二つの方向性を融合させ、従来の学問的境界を横断し、ユーラシアの三つの文明圏における人間の想像力と生態系の相関関係を究明するのが目的である。

さらに、メンバー各自がもつ高い専門性を、より複眼的な視点から有機的に結び付けることによって、大陸規模での文化接触のダイナミズムを明らかにすることを目指した。

３．研究の方法

本研究は、歴史的文脈を無視した表層だけを安易に比較した成果を求めるものではなく、メンバー各自による一次資料やフィールドデータの緻密な分析を何よりも重視した歴史的・文化的相対主義の視点から、各時代や各地域の文脈において重要性を持つ概念や事象を実証的に検証した。その上で、それらを比較検討するための共通言語として、アトラン、ボワイエ、スペルベルなどによる認知考古学・進化心理学の理論を応用し、長期間にわたって広い地域で維持されてきた文化的事象の「伝染力」の原因や、神・気・天といった、人間の通常の感覚で知覚できない力の介在を見出す行動の背景を解明した。

中世・近世ヨーロッパの驚異の研究や、妖怪学・怪異学の成果はすでに蓄積が厚いが、従来の研究は「西洋中世の想像世界」、「中世ムスリムの世界観」、「中国の鬼神観」、「日本の妖怪文化」などの地域的や時代的な特性の抽出にとどまっていた。本研究では、これらを参照軸としつつも、文明圏同士の相互交流を相対的に捉え、古代・中世・近世にかけての大きな展開を比較し、大局的な俯瞰図を描いた。

４．研究成果

（１）　成果物

代表者・分担者が個別に発表した成果に加え、プロジェクト全体としての主要な成果物は以下の 2 点である。

代表者山中と分担者山田の共編による論集『この世のキワ―＜自然＞の内と外』（勉誠出版、2019 年）では、一神教世界と東アジアの驚異・怪異の豊富な事例研究を通して、それらが＜自然＞に内包されるものなのか、自然界を超越したものなのか、あるいは内と外のあわいに漂うものなのかを、各地域・時代の自然観の枠組みに位置付け、検証することができた。一方で、超越的存在と宗教・自然思想との関連性については、より考察を深める必要があることが判明し、次なる研究の展開につながった。

さらに、驚異・怪異の事例をより大局的な俯瞰図の中に位置づけるべく全世界に視野を広げ、人類が生み出してきた想像界の生きものたちの「生物多様性」を動的・立体的な視点から捉えたのが、特別展「驚異と怪異―想像界の生きものたち」（国立民族学博物館、2019 年 8 月 29 日～11 月 26 日）である。代表者山中が編集した解説書『驚異と怪異―想像界の生きものたち』（日

英二か国語）は一般書として河出書房新社から刊行し、人間の想像的行為と自然環境の相関関係を俯瞰するような内容となっている。

（２）　国際発信

代表者・分担者による個別の国際発信に加え、プロジェクトとしては、2 年度目の 2019 年に国際ワークショップ、4 年度目の 2021 年に国際シンポジウムを開き、英語での成果論集につなげる予定であった。2019 年 11 月に開いた国際ワークショップ Boundaries of the ‘Natural’ and ‘Supernatural’においてそれまでの成果を国際展開し、理論的枠組みの中間検証を行うことができたが、3 年度目から全世界的に広がった新型コロナ感染症の影響で、2 回目のシンポジウムのために海外から研究者を招くことができなくなった。それでも、科研費補助金を繰越し、人間文化研究機構ネットワーク型基幹研究プロジェクト「グローバル地中海地域研究」との共催で、国際シンポジウム Magic and the Manipulation of 'Nature' in Arabic, Persian, and Urdu Narratives を、2023 年 9 月に国立民族学博物館にて開催した。当初の予定よりは、規模は縮小せざるを得なかったものの、西アジアの文学における魔術と自然観について、海外の専門家も交えて非常に有意義な議論を行うことができた。

（３）　社会還元

驚異・怪異の基層にある人類に普遍的な心性メカニズムを探るため、国立民族学博物館所蔵の民族資料を中心に幻獣・霊獣・神獣等の標本資料を選定し、常識や慣習から逸脱した「異」なるもの（異境・異人・異類）をめぐる人間の心理と想像力の働き、言説と視覚表象物の関係を解明するとともに、人間の想像力と環境の相関関係を究明した。その成果を展示空間に立体的に可視化した特別展「驚異と怪異―想像界の生きものたち」では、具体的には、人魚、龍、河童、天狗、狼男など、この世のキワにいるかもしれないと信じられていた驚異や怪異にまつわる絵画、書籍、民族資料などを展示した。さらに現代のアーティスト、漫画家、ゲームデザイナーたちによるクリーチャー制作も紹介し、妖怪やモンスターの源泉にある想像と創造の力を探った。同展は記録的な入館者数を達成し、複数のメディア取材を受けるなど、大きな反響を得た。さらに同展の巡回展を兵庫県立歴史博物館（2020 年 6 月 23 日～8 月 16 日）、高知県立歴史民俗資料館（2022 年 4 月 29 日～6 月 26 日）および福岡市博物館（2023 年 3 月 11 日～5 月 14 日）でも開催した。これらの巡回展示においては、ローカルな民俗資料を追加し、地域文化と接続させたかたちで成果の社会還元を行うことができた。

一般書として刊行した展示の解説書『驚異と怪異―想像界の生きものたち』（河出書房新社、2019 年）は、研究期間中にすでに 7 刷まで増版されており、期待以上の社会的波及効果を得ることができたといえる。博物館展示として展開した記録や一般社会への波及効果を示すデータを整理した詳細な報告書を編集し刊行した。

５．主な発表論文等

〔雑誌論文〕　計79件（うち査読付論文　16件／うち国際共著　11件／うちオープンアクセス　10件）

１．著者名 山中由里子	４．巻 187
２．論文標題 抗体としてのモンスター――表象の疫学から解くアマビエ現象	５．発行年 2023年
３．雑誌名 季刊民族学	６．最初と最後の頁 89-92
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

１．著者名 山中由里子	４．巻 -
２．論文標題 巨人の名残り―遺物をめぐる中世イスラーム世界の驚異譚と巨人	５．発行年 2023年
３．雑誌名 勝又悦子編『「巨人」の場(トポス) ―古代オリエント・ユダヤ・イスラーム・ヨーロッパ文化圏における巨人表象の変遷』	６．最初と最後の頁 115-138
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 Yuriko Yamanaka (with the collaboration of Isabelle Draelants)	４．巻 -
２．論文標題 How to Uproot a Mandrake: Reciprocity of Knowledge between Europe, the Middle East, and China	５．発行年 2022年
３．雑誌名 Horizons medievaux d ’ Orient et d ’ Occident: Regards croises entre France et Japon	６．最初と最後の頁 169-195
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

１．著者名 小松和彦	４．巻 15
２．論文標題 封印された神と妖怪の記憶を発掘する：越後関川村大里峠 大蛇伝説考	５．発行年 2024年
３．雑誌名 怪と幽	６．最初と最後の頁 162-173
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 小松和彦	4．巻 14
2．論文標題 封印された神と妖怪の記憶を発掘する 番外編 いざなぎ流関連の資料に取り組む日々―近況雑記	5．発行年 2024年
3．雑誌名 怪と幽	6．最初と最後の頁 134-137
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 安井眞奈美	4．巻 47.2
2．論文標題 描かれた身体 ： 浮世絵と絵馬に探る	5．発行年 2023年
3．雑誌名 『季刊民族学』	6．最初と最後の頁 22‐31
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 安井眞奈美	4．巻 -
2．論文標題 妊婦と胎児の身体を可視化する　明治時代初期の錦絵を中心に	5．発行年 2022年
3．雑誌名 安井眞奈美,ローレンス・マルソー共編『想像する身体　上巻：身体イメージの変容』	6．最初と最後の頁 98-123
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 木場貴俊	4．巻 41
2．論文標題 血になくや産女の化鳥郭公 ： 近世文化史から見たウブメ	5．発行年 2024年
3．雑誌名 総合女性史研究	6．最初と最後の頁 71-73
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 木場貴俊	4．巻 -
2．論文標題 Museoun geos bogo sip-eum'ui geunsemunhwasa（「こわいもの見たさ」の近世文化史　韓国語訳）	5．発行年 2024年
3．雑誌名 安井眞奈美 エルナンデス・アルバロ編Sinche-ui daejung munhwa : guelida, ipda, nolae hada （『身体の大衆文化 描く・着る・歌う』韓国語）	6．最初と最後の頁 100-133
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1．著者名 木場貴俊	4．巻 94
2．論文標題 近世怪異の展開と近代化	5．発行年 2023年
3．雑誌名 史潮	6．最初と最後の頁 47-70
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 木場貴俊	4．巻 22
2．論文標題 絵入年代記考	5．発行年 2023年
3．雑誌名 雅俗	6．最初と最後の頁 80-98
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 木場貴俊	4．巻 12月臨時増刊号
2．論文標題 「近世怪異文化史からみた平田国学」覚書	5．発行年 2023年
3．雑誌名 現代思想　総特集 平田篤胤	6．最初と最後の頁 486-496
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 佐々木聡	4．巻 -
2．論文標題 ベトナムにおける天文五行占書の受容と流布について	5．発行年 2024年
3．雑誌名 水口幹記編『東アジア的世界分析の方法：〈術数文化〉の可能性』	6．最初と最後の頁 143-157
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 小谷友也，佐々木聡	4．巻 84
2．論文標題 光緒十年怡怡堂刊『関帝明聖真経』と斉有堂「霊験記」について	5．発行年 2023年
3．雑誌名 汲古	6．最初と最後の頁 38-44
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 佐々木聡	4．巻 75.2
2．論文標題 光緒丁酉年郭洪興抄発病占書とその占辞に見える鬼神	5．発行年 2023年
3．雑誌名 古代文化	6．最初と最後の頁 34-45
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 佐々木聡	4．巻 141
2．論文標題 初期道教経典に見える鬼神観再考：〈発病占〉と暦日の冥官の関係に着目して	5．発行年 2023年
3．雑誌名 東方宗教	6．最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 佐々木聡	4．巻 -
2．論文標題 『礼緯含文嘉』の諸伝本と近世における天文五行占書の流布	5．発行年 2022年
3．雑誌名 陰陽道史研究の会編『呪術と学術の東アジア：陰陽道研究の継承と展望 』	6．最初と最後の頁 234-247
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 黒川正剛	4．巻 -
2．論文標題 西洋中･近世における巨人表象とイマジネールー聖人･野人･パタゴニア人	5．発行年 2023年
3．雑誌名 勝又悦子編『「巨人」の場（トポス） 古代オリエント・ユダヤ・イスラーム・ヨーロッパ文化圏における巨人表象の変遷』	6．最初と最後の頁 165-188
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 黒川正剛	4．巻 25.42
2．論文標題 近世フランスの百科事典における「驚異」認識についてーA・フュルティエール著『普遍辞典』(1689年)から	5．発行年 2023年
3．雑誌名 太成学院大学紀要	6．最初と最後の頁 55-65
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.20689/taiseikiyou.25.0_55	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 大沼由布	4．巻 -
2．論文標題 Gigantesの運命 ―古代中世ヨーロッパの巨人伝承の変遷―	5．発行年 2023年
3．雑誌名 勝又悦子編『「巨人」の場(トポス) ―古代オリエント・ユダヤ・イスラーム・ヨーロッパ文化圏における巨人表象の変遷』	6．最初と最後の頁 59-79
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 大沼由布	4．巻 -
2．論文標題 体と心と言葉の旅―英仏版『マンデヴィルの旅行記』とイングランド像	5．発行年 2022年
3．雑誌名 大沼由布・徳永聡子編『旅するナラティヴ―西洋中世をめぐる移動の諸相』	6．最初と最後の頁 5-21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 野元晋	4．巻 55
2．論文標題 アブー・ヤアクーブ・スィジスターニー（著） 野元晋（訳）「イスマーイール・シーア派における時間と永遠(1)アブー・ヤアクーブ・スィジスターニー(10世紀)を例として ： その『王領への鍵の書』から第21章の邦訳と解題」	5．発行年 2024年
3．雑誌名 慶応義塾大学言語文化研究所紀要	6．最初と最後の頁 277-294
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 野元晋	4．巻 -
2．論文標題 ラーズィーの『飾りの書』における一ハディースについての覚書 ーイスマーイール派とイマーム派伝承の比較試論	5．発行年 2023年
3．雑誌名 森本一夫・井上貴恵・小野純一・澤井真編『イスラームの内と外から：鎌田繁先生古稀記念論文集』	6．最初と最後の頁 329-345
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 林則仁	4．巻 -
2．論文標題 イスラーム写本絵画にみる巨人の表象 ーウージュの絵画表現と図像の象徴性についてー	5．発行年 2023年
3．雑誌名 勝又悦子編『「巨人」の場(トポス) ―古代オリエント・ユダヤ・イスラーム・ヨーロッパ文化圏における巨人表象の変遷』	6．最初と最後の頁 83-114
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 山中由里子	4．巻 178
2．論文標題 表象の疫学から解くアマビエ現象	5．発行年 2021年
3．雑誌名 季刊民族学	6．最初と最後の頁 72-78
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Yu Onuma	4．巻 -
2．論文標題 Otherness as an Ideal: The Tradition of the ‘Virtuous’ Indians	5．発行年 2021年
3．雑誌名 ‘Otherness’ in the Middle Ages, Hans-Werner Goetz and Ian Wood (eds.)	6．最初と最後の頁 319-338
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1．著者名 木場貴俊	4．巻 -
2．論文標題 怪物を食らう	5．発行年 2021年
3．雑誌名 東アジア怪異学会編『怪異学講義』勉誠出版	6．最初と最後の頁 379-398
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 木場貴俊	4．巻 -
2．論文標題 空から獣が落ちてきた―雷獣攷	5．発行年 2021年
3．雑誌名 荒木浩・前川志織・木場貴俊編『〈キャラクター〉の大衆文化』KADOKAWA	6．最初と最後の頁 173-198
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 佐々木聡	4．巻 -
2．論文標題 通俗信仰と怪異：前近代中国の基層社会における 災異受容史	5．発行年 2021年
3．雑誌名 東アジア怪異学会編『 怪異学講義：王権・信仰 ・いとなみ』勉誠出版	6．最初と最後の頁 77-98
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Shin Nomoto	4．巻 53
2．論文標題 An Ismaili Thinker on Abraham and Moses' Recognition of the Earthly and Celestial Hierarchies 2 : translation of the Kitab al-Islah by Abu Hatim al-Razi	5．発行年 2022年
3．雑誌名 慶應義塾大学言語文化研究所紀要	6．最初と最後の頁 279-295
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 安井眞奈美	4．巻 -
2．論文標題 ムラの変遷を追う―能登半島の「ツラ」について	5．発行年 2021年
3．雑誌名 七浦から世界へ―調査・研究・活用としてのフィールド、川村清志・高科真紀編、国立歴史民俗博物館	6．最初と最後の頁 28-47
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 山中由里子	4．巻 -
2．論文標題 マンドレイクの採取法―ヨーロッパ・中東・中国における知識の往還	5．発行年 2020年
3．雑誌名 江川温ほか編『東西中世のさまざまな地平―フランスと日本の交差するまなざし』	6．最初と最後の頁 157-188
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1．著者名 山中由里子	4．巻 172
2．論文標題 「自然界から想像／創造する」	5．発行年 2020年
3．雑誌名 『季刊民族学』	6．最初と最後の頁 84-103
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 山中由里子	4．巻 -
2．論文標題 驚異譚（アジャーイブ）と想像界	5．発行年 2020年
3．雑誌名 鈴木薫，近藤二郎，赤堀雅幸編『中東・オリエント文化事典』	6．最初と最後の頁 416-417
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 黒川正剛	4．巻 -
2．論文標題 西欧近世の魔術信仰における感覚・実践・マテリアリティ	5．発行年 2020年
3．雑誌名 川田牧人・白川千尋・飯田卓編『現代世界の呪術』	6．最初と最後の頁 329-353
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Yu Onuma	4．巻 95
2．論文標題 The Great Khan and the Mongols in Mandeville’s Travels: Medieval European Observation and Imagination	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Etudes Medievales Anglaises	6．最初と最後の頁 41-66
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1．著者名 大沼由布	4．巻 -
2．論文標題 マンティコア変奏曲―実在と幻想の狭間	5．発行年 2020年
3．雑誌名 東雅夫・下楠昌哉編『幻想と怪奇の英文学IV ― 変幻自在編』	6．最初と最後の頁 54-75
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Norihito Hayashi	4．巻 22
2．論文標題 Some Observations on the Illustrations of Monsters: The Earliest Images of Monstrous Races appeared in the al-Qazwini's Wonders of Creation	5．発行年 2020年
3．雑誌名 龍谷大学国際社会文化研究所紀要	6．最初と最後の頁 185-199
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 YASUI Manami	4．巻 35
2．論文標題 Imagining the Spirits of Deceased Pregnant Women: An Analysis of Illustrations of Ubume in Early Modern Japan	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Japan review : Journal of the International Research Center for Japanese Studies	6．最初と最後の頁 91～112
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15055/00007603	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 安井眞奈美	4．巻 4
2．論文標題 女と妖怪―うぶめを中心に	5．発行年 2021年
3．雑誌名 『東アジアの自然観―東アジアの環境と風俗』	6．最初と最後の頁 363-366
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 佐々木聡	4．巻 -
2．論文標題 清末以降の発病占の変容とその社会史的意義： 三十日病占から六十日病占へ	5．発行年 2020年
3．雑誌名 小山聡子編『前近代日本の 病気治療と呪術』	6．最初と最後の頁 48-70
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 山中由里子	4．巻 -
2．論文標題 自然界と想像界のあわいにある驚異と怪異	5．発行年 2019年
3．雑誌名 山中由里子・山田仁史共編『この世のキワ―＜自然＞の内と外』勉誠出版	6．最初と最後の頁 4‐16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Yuriko Yamanaka, Isabelle Draelants	4．巻 -
2．論文標題 How to Uproot a Mandrake: Reciprocity of Knowledge between Europe, the Middle East, and China	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Les echanges culturels aux Moyen-Age: du dialogue a la construction des cultures, Hanno Wijsman, Marc H. Smith, Benoit Grevin, On Egawa, Megumi Tanabe eds., Editions de la Sorbonne	6．最初と最後の頁 ―
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1．著者名 小松和彦	4．巻 -
2．論文標題 比較妖怪学の可能性	5．発行年 2019年
3．雑誌名 山中由里子編『驚異と怪異―想像界の生きものたち』	6．最初と最後の頁 232-233
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Kazuhiko Komatsu	4．巻 -
2．論文標題 What Is a Yokai?	5．発行年 2019年
3．雑誌名 Yokai: Ghosts, Demons and Monsters of Japan, Felicia Katz-Harris ed., Museum of New Mexico Press	6．最初と最後の頁 55-69
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1．著者名 Kazuhiko Komatsu	4．巻 -
2．論文標題 From the Past into the Future: The Enduring Legacy of Yokai	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Japan Supernatural: Ghost, Goblins, and Monsters, 1700 to Now, Melanie Eastburn ed., Art Gallery of New South Wales	6．最初と最後の頁 31-38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1．著者名 小松和彦	4．巻 1
2．論文標題 葛城山の土蜘蛛	5．発行年 2019年
3．雑誌名 怪と幽	6．最初と最後の頁 192-203
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 小松和彦	4．巻 2
2．論文標題 鞍馬の竹伐り会式の向こう側へ	5．発行年 2019年
3．雑誌名 怪と幽	6．最初と最後の頁 128-137
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 小松和彦	4．巻 3
2．論文標題 鞍馬の天狗の正体を探る	5．発行年 2019年
3．雑誌名 怪と幽	6．最初と最後の頁 150-159
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 安井眞奈美	4．巻 -
2．論文標題 妖怪画に描かれた身体―目の妖怪を中心に	5．発行年 2019年
3．雑誌名 山中由里子・山田仁史共編『この世のキワ―＜自然＞の内と外』勉誠出版	6．最初と最後の頁 163‐173
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 山田仁史	4．巻 47(11)
2．論文標題 神話と万葉集：月・若水・脱皮	5．発行年 2019年
3．雑誌名 現代思想	6．最初と最後の頁 234‐245
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 山田仁史	4．巻 23
2．論文標題 台湾原住民における人生儀礼	5．発行年 2019年
3．雑誌名 台湾原住民研究	6．最初と最後の頁 51-80
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Hitoshi Yamada	4．巻 5
2．論文標題 Negative origin of a cultural trait? Myths of the loss of literacy	5．発行年 2019年
3．雑誌名 Etnografia	6．最初と最後の頁 42-56
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.31250/2618-8600-2019-3(5)-42-56	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Hitoshi Yamada	4．巻 5(1)
2．論文標題 Comparative Mythology Synchronic and Diachronic: Structure and History for Taryo Obayashi and Claude Levi-Strauss	5．発行年 2019年
3．雑誌名 Comparative Mythology	6．最初と最後の頁 55-65
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 山田仁史	4．巻 -
2．論文標題 驚異・怪異の人類史的基礎	5．発行年 2019年
3．雑誌名 山中由里子・山田仁史共編『この世のキワー〈自然〉の内と外』勉誠出版	6．最初と最後の頁 335-354
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 大沼由布	4．巻 -
2．論文標題 百科事典と自然の分類―西洋中世を中心に	5．発行年 2019年
3．雑誌名 山中由里子・山田仁史共編『この世のキワ―〈自然〉の内と外』勉誠出版	6．最初と最後の頁 55-68
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 大沼由布	4．巻 -
2．論文標題 西洋中世の百科事典の系譜	5．発行年 2020年
3．雑誌名 『令和元年度極東証券寄付講座文献学の世界－書物と知の組織化』慶應義塾大学	6．最初と最後の頁 63-74
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 黒川正剛	4．巻 -
2．論文標題 西欧近世における「呪者の肖像」－高等魔術師と魔女	5．発行年 2019年
3．雑誌名 川田牧人･白川千尋･関一敏共編『呪者の肖像』	6．最初と最後の頁 79‐98
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 黒川正剛	4．巻 -
2．論文標題 魔女の身体、怪物の身体	5．発行年 2019年
3．雑誌名 山中由里子･山田仁史共編『この世のキワ－＜自然＞の内と外』勉誠出版	6．最初と最後の頁 188‐200
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 野元晋	4．巻 -
2．論文標題 「照明学の師」スフラワルディーの自然論から：『照明の叡智学（哲学）』から第２部第3論考訳注	5．発行年 2020年
3．雑誌名 神崎忠昭・野元晋　共編『自然を前にした人間の哲学：古代から近代にかけての12の問いかけ』慶應義塾大学言語文化研究所	6．最初と最後の頁 105-136
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 佐々木聡	4．巻 -
2．論文標題 釜鳴と鳴釜神事― 常ならざる音の社会史	5．発行年 2019年
3．雑誌名 山中由里子・山田仁史共編『この世のキワー〈自然〉の内と外』勉誠出版	6．最初と最後の頁 261‐267
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 佐々木聡	4．巻 -
2．論文標題 中国古代・中世の鬼神と自然観―「自然の怪」をめぐる社会史	5．発行年 2019年
3．雑誌名 山中由里子・山田仁史共編『この世のキワー〈自然〉の内と外』勉誠出版	6．最初と最後の頁 30-41
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 佐々木聡	4．巻 -
2．論文標題 ベトナム阮朝における天文五行占の受容と禁書政策	5．発行年 2020年
3．雑誌名 水口幹記編『前近代東アジアの〈術数文化〉』	6．最初と最後の頁 201-215
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 林則仁	4．巻 -
2．論文標題 中東世界の百科全書に描かれる異形の種族	5．発行年 2019年
3．雑誌名 山中由里子・山田仁史共編『この世のキワ―＜自然＞の内と外』勉誠出版	6．最初と最後の頁 201‐220
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Yuriko Yamanaka	4．巻 45
2．論文標題 Authenticating the Incredible: Comparative Study of Narrative Strategies in Arabic and Persian Ajaib Literature	5．発行年 2019年
3．雑誌名 Jerusalem Studies in Arabic and Islam	6．最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1．著者名 Yuriko Yamanaka	4．巻 —
2．論文標題 The Tear-bottle Quest: European Perception of the Biblical Orient and Iranian Shiite Ritual	5．発行年 2018年
3．雑誌名 Terra Ridens	6．最初と最後の頁 152-172
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1．著者名 山中由里子	4．巻 —
2．論文標題 イスラームにおける地獄	5．発行年 2018年
3．雑誌名 西山克編『地獄への招待』	6．最初と最後の頁 89-108
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 —

1．著者名 黒川正剛	4．巻 —
2．論文標題 キリスト教の地獄観	5．発行年 2018年
3．雑誌名 西山克編『地獄への招待』	6．最初と最後の頁 7-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 —

1．著者名 黒川正剛	4．巻 —
2．論文標題 西欧近世における「呪者の肖像」―高等魔術師と魔女	5．発行年 2018年
3．雑誌名 川田牧人・白川千尋・関一敏編『呪者の肖像』	6．最初と最後の頁 79-98
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 —

1．著者名 大沼由布	4．巻 —
2．論文標題 「27．ヴァンサン・ド・ボーヴェ『自然の鑑』」、「28．ヴァンサン・ド・ボーヴェ『諸学の鑑』」、「29．ヴァンサン・ド・ボーヴェ『歴史の鑑』」、「30．バルトロマエウス・アングリクス『事物の属性について』」	5．発行年 2018年
3．雑誌名 安形麻理監修『インキュナブラの時代―慶應義塾の西洋初期印刷本コレクションとその広がり（第30回慶應義塾図書館貴重書展示会）』	6．最初と最後の頁 41-46
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 —

1．著者名 安井眞奈美	4．巻 —
2．論文標題 出産の「痛み」を語る声	5．発行年 2018年
3．雑誌名 橘 弘文，手塚 恵子編『文化を映す鏡をみがく』	6．最初と最後の頁 225-226
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 —

1．著者名 佐々木聡	4．巻 —
2．論文標題 異と常：漢魏六朝における祥瑞災異と博物学	5．発行年 2018年
3．雑誌名 東アジア怪異学会編『怪異学の地平』	6．最初と最後の頁 40-59
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 —

1．著者名 佐々木聡	4．巻 130号
2．論文標題 コラム：神獣白沢と治病祈願	5．発行年 2018年
3．雑誌名 『鍼灸OSAKA』	6．最初と最後の頁 103-107
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 佐々木聡	4．巻 129号
2．論文標題 コラム：発病占の二千年史	5．発行年 2018年
3．雑誌名 『鍼灸OSAKA』	6．最初と最後の頁 117-121
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 山田仁史	4．巻 －
2．論文標題 カール・フローレンツの比較神話論	5．発行年 2018年
3．雑誌名 石井正己編『外国人の発見したニッポン』（アジア遊学219）	6．最初と最後の頁 37-54
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 山田仁史	4．巻 第142期
2．論文標題 蟹与蛇：日本、東南亜和東亜之洪水和地震的神話与伝説	5．発行年 2018年
3．雑誌名 民俗研究	6．最初と最後の頁 75-84
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1．著者名 山田仁史	4．巻 －
2．論文標題 解説　ささげられる人体	5．発行年 2018年
3．雑誌名 高木敏雄『人身御供論』	6．最初と最後の頁 287-299
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 山田仁史	4．巻 －
2．論文標題 洪水神話・伝承にみられる異文化混淆	5．発行年 2019年
3．雑誌名 東北大学大学院文学研究科講演・出版企画委員会編『ハイブリッドな文化』	6．最初と最後の頁 1‐41
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 山田仁史	4．巻 －
2．論文標題 解説　探究にいざなう神話語り	5．発行年 2019年
3．雑誌名 大林太良『神話学入門』	6．最初と最後の頁 215-226
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

〔学会発表〕　計81件（うち招待講演　44件／うち国際学会　26件）

1．発表者名 山中由里子
2．発表標題 マンドレイクの根を抜く術――『ユダヤ戦記』から『ダンジョン飯』まで
3．学会等名 日本オリエント学会公開講演会「変成するオリエントの物語――古代から現代へ」（招待講演）
4．発表年 2023年

１．発表者名 Yuriko Yamanaka
２．発表標題 Between Medicine and Magic: The Mandrake Plant in Mediaeval Arabic and Persian Literature
３．学会等名 European Conference of Iranian Studies（国際学会）
４．発表年 2023年

１．発表者名 Yuriko Yamanaka
２．発表標題 Les frontieres de la nature : une etude comparative du merveilleux et de l ’etrange
３．学会等名 Pole Quadrivium - IRHT-CNRS "Le monde et ses merveilles : cosmologie, geographie et nature au Moyen age entre Orient et Occident"（招待講演）（国際学会）
４．発表年 2023年

１．発表者名 Yuriko Yamanaka
２．発表標題 Where Lie the Boundaries of ‘ Nature ’ ?
３．学会等名 Magic and the Manipulation of ‘ Nature ’ in Arabic, Persian, and Urdu Narratives (National Museum of Ethnology)（国際学会）
４．発表年 2023年

１．発表者名 山中由里子
２．発表標題 ディスカッション「「妖怪」の理論化と歴史化」
３．学会等名 国際シンポジウム「グローバル・コンテクストにおける妖怪の理論化と歴史化」 国際日本文化研究センター（招待講演）（国際学会）
４．発表年 2023年

１．発表者名 山中由里子
２．発表標題 マンドレイクの採取法：驚異圏と怪異圏をつなぐ伝承
３．学会等名 東アジア怪異学会第140回定例研究会
４．発表年 2023年

１．発表者名 小松和彦
２．発表標題 小松和彦、いざなぎ流を語る
３．学会等名 京都先端科学大学人文学部歴史文化学科 民俗探究プログラム
４．発表年 2024年

１．発表者名 小松和彦
２．発表標題 魔界京都の「発見」とその後－怪異・妖怪研究への貢献
３．学会等名 京都文化博物館総合展示「異界へのまなざし：あやかしと魔よけの世界」記念講演会（招待講演）
４．発表年 2023年

１．発表者名 小松和彦
２．発表標題 異界を覗く－日本人の幻想世界－
３．学会等名 大阪歴史博物館特別企画展「異界彷徨―怪異・祈り・生と死―」講演会（招待講演）
４．発表年 2023年

１．発表者名 安井眞奈美
２．発表標題 妖怪データベースの活用と今後の展開
３．学会等名 国際学術シンポジウム「デジタルヒューマニティーズとデータベースから見る人文学の世界」高麗大学校文科大学・国際日本文化研究センター（国際学会）
４．発表年 2024年

１．発表者名 安井眞奈美
２．発表標題 ディスカッション「「妖怪」の理論化と歴史化」
３．学会等名 国際シンポジウム「グローバル・コンテクストにおける妖怪の理論化と歴史化」 国際日本文化研究センター（国際学会）
４．発表年 2023年

１．発表者名 安井眞奈美
２．発表標題 日中における妖怪の表現―産女と天狗を中心に
３．学会等名 国際討論会「日中異界想像の歴史比較研究」国際日本文化研究センター（国際学会）
４．発表年 2023年

１．発表者名 安井眞奈美
２．発表標題 民俗資料から読み解く身体とジェンダー
３．学会等名 第141回地理思想研究部会（招待講演）
４．発表年 2022年

１．発表者名 安井眞奈美
２．発表標題 趣旨説明
３．学会等名 2022年度日中妖怪研究シンポジウム（国際学会）
４．発表年 2022年

１．発表者名 安井眞奈美
２．発表標題 妖怪とジェンダー
３．学会等名 身体と霊性Ｖ　第1回
４．発表年 2022年

１．発表者名 安井眞奈美
２．発表標題 『狙われた身体ー病いと妖怪とジェダー 』より
３．学会等名 第271回日文研木曜セミナー
４．発表年 2022年

１．発表者名 木場貴俊
２．発表標題 絵入年代記に見る怪異
３．学会等名 東アジア恠異学会 第146回定例研究会
４．発表年 2024年

１．発表者名 木場貴俊
２．発表標題 産女と姑獲鳥ーウブメの文化史ー
３．学会等名 怪異と“生きもの” ～怪異学入門 （東アジア怪異学会協力講座 朝日カルチャーセンター中之島教室）
４．発表年 2023年

１．発表者名 木場貴俊
２．発表標題 歴史的産物としての「ウブメ」再考
３．学会等名 「ソリッドな〈無常〉／フラジャイルな〈無常〉―古典の変相と未来観」研究会（2023年度第1回 国際日本文化研究センター）
４．発表年 2023年

１．発表者名 木場貴俊
２．発表標題 血になくや産女の化鳥郭公―近世文化史から見たウブメ―
３．学会等名 総合女性史学会（招待講演）
４．発表年 2022年

１．発表者名 木場貴俊
２．発表標題 「絵入年代記」図像考－可視化される日本史
３．学会等名 第157回「書物・出版と社会変容」研究会 京都大会（招待講演）
４．発表年 2022年

１．発表者名 木場貴俊
２．発表標題 舌と怪異
３．学会等名 怪異学セミナー（招待講演）
４．発表年 2023年

１．発表者名 木場貴俊
２．発表標題 論じられる怪異
３．学会等名 怪異学フォーラム〈京都の怪異・大坂の怪談〉（招待講演）
４．発表年 2023年

１．発表者名 木場貴俊
２．発表標題 近世日本における「天地」と「怪異」
３．学会等名 韓国日語日文学会シンポジウム「生態学の観点から見た怪異―敬畏と共存のメカニズム―」（招待講演）（国際学会）
４．発表年 2022年

１．発表者名 木場貴俊
２．発表標題 近世怪異の展開と近代化
３．学会等名 歴史学会第47 回大会シンポジウム「呪術、怪異、奇跡―「近代化」の周縁」（招待講演）
４．発表年 2022年

１．発表者名 木場貴俊
２．発表標題 江戸の妖怪文化
３．学会等名 亀岡市文化資料館企画展「怪異・妖怪に先人のこころをみる」講演会（招待講演）
４．発表年 2022年

１．発表者名 Yu Onuma
２．発表標題 Mobility and Identity in Medieval European Literature
３．学会等名 Doshisha University—EHESS Meeting & Seminar（国際学会）
４．発表年 2023年

１．発表者名 大沼由布
２．発表標題 Liber monstrorumにおける怪物たち
３．学会等名 日本英文学会第95回全国大会シンポジウム「怪物と中世英文学」（招待講演）
４．発表年 2023年

１．発表者名 Yu Onuma
２．発表標題 The Role of Prester John in Mandeville’s Travels
３．学会等名 Mandeville 700（国際学会）
４．発表年 2022年

１．発表者名 黒川正剛
２．発表標題 西洋キリスト教とドラゴン
３．学会等名 朝日カルチャーセンター中之島
４．発表年 2024年

１．発表者名 黒川正剛
２．発表標題 魔女裁判と動物裁判 －西洋中・近世の奇異な裁き
３．学会等名 朝日カルチャーセンター中之島
４．発表年 2023年

１．発表者名 黒川正剛
２．発表標題 聖女と魔女 ー西洋中・近世の女性イメージ
３．学会等名 朝日カルチャーセンター中之島
４．発表年 2023年

１．発表者名 山中由里子
２．発表標題 巨人の名残りー遺物をめぐる中世イスラーム世界の驚異譚と巨人
３．学会等名 同志社大学 一神教学際研究センター　 公開講演会（招待講演）
４．発表年 2022年

１．発表者名 山中由里子
２．発表標題 中世イスラーム的人類史観における巨人族
３．学会等名 東京大学中東地域研究センター連続セミナー「中東と遺産：文化・歴史・信仰の展開」（招待講演）
４．発表年 2021年

１．発表者名 Yu Onuma
２．発表標題 Migration of Marvels across Genres and the Ages
３．学会等名 UCMS Lecture Series, Utrecht Centre for Medieval Studies（招待講演）（国際学会）
４．発表年 2021年

１．発表者名 大沼由布
２．発表標題 異形のカタログ―西洋中世の百科事典的著作における巨人の記述
３．学会等名 公開シンポジウム「巨人」の場（トポス）、同志社大学一神教学際研究センター（招待講演）
４．発表年 2021年

１．発表者名 木場貴俊
２．発表標題 雷獣の出現と文化的展開
３．学会等名 東アジア怪異学会
４．発表年 2021年

１．発表者名 木場貴俊
２．発表標題 日文研怪異・妖怪関係資料について
３．学会等名 大衆文化研究の資料学、国際日本文化研究センター
４．発表年 2022年

１．発表者名 木場貴俊
２．発表標題 江戸怪談の普遍と特殊
３．学会等名 東アジア日本研究者協議会、第5回国際学術大会（国際学会）
４．発表年 2022年

１．発表者名 黒川正剛
２．発表標題 西洋中･近世における巨人表象とイマジネールー聖人･野人･パタゴニア人
３．学会等名 公開シンポジウム「巨人」の場（トポス）、同志社大学一神教学際研究センター（招待講演）
４．発表年 2021年

１．発表者名 黒川正剛
２．発表標題 総論　怪異学とは何か
３．学会等名 東アジア恠異学会編『怪異学講義ー王権・信仰・いとなみ』講評会、東アジア恠異学会
４．発表年 2021年

１．発表者名 野元晋
２．発表標題 宇宙の周期(dawr)と大周期(kawr)：宇宙の歴史の思想、イフワーン・サファー（純粋兄弟会）、そしてイスマーイール・シーア派
３．学会等名 慶應義塾大学言語文化研究所公募研究「時間支配とテクスト生成ー古代から近世における比較思想史的研究」研究会
４．発表年 2022年

１．発表者名 Shin Nomoto
２．発表標題 Two Approaches to Ismailism: Toshihiko Izutsu（1914－1993）and Henry Corbin（1903-78）
３．学会等名 The Third Ismaili Studies Conference: Histories, Philosophies and Communities, Leiden University Shi'i Studies Initiative（国際学会）
４．発表年 2021年

１．発表者名 林則仁
２．発表標題 巨人のイメージーイスラーム写本絵画にみる巨大な身体を持つ図像
３．学会等名 公開シンポジウム「巨人」の場（トポス）、同志社大学一神教学際研究センター（招待講演）
４．発表年 2021年

１．発表者名 安井眞奈美
２．発表標題 明治期における胎児の成長図―医療・美術・民間信仰の狭間で
３．学会等名 第14 回国際日本文化研究センター共同研究会、身体イメージの想像と展開――医療・美術・民間信仰の狭間で
４．発表年 2021年

１．発表者名 安井眞奈美
２．発表標題 『大衆文化研究叢書』書評パネル：第3巻『身体の大衆文化　描く・着る・歌う』
３．学会等名 大衆文化研究プロジェクト総括シンポジウム、日本大衆文化研究の最前線―新しい日本像の創出にむけて
４．発表年 2022年

１．発表者名 安井眞奈美
２．発表標題 医療と美術の狭間
３．学会等名 シンポジウム、身体イメージの創造――感染症時代に考える伝承・医療・アート、国際日本文化研究センター・大阪大学総合学術博物館
４．発表年 2022年

１．発表者名 山中由里子
２．発表標題 常ならざる音―耳を通して異界とつながる―
３．学会等名 みんぱく映像民族誌シアター
４．発表年 2021年

１．発表者名 Yuriko Yamanaka
２．発表標題 The Museum as a Re-enchanted Forest?: Magical Thinking in Museum Space
３．学会等名 REDIM (Dynamiken religioeser Dinge im Museum) Online Colloquium（招待講演）（国際学会）
４．発表年 2020年

１．発表者名 山中由里子
２．発表標題 中世イスラーム世界における巨人像―ペルシア・アラビア語博物誌に見るアードの民
３．学会等名 ユダヤ・イスラーム・ヨーロッパ文化圏における巨人族表象の変遷（日本中世英語英文学会第36回全国大会 企画シンポジウム）（招待講演）
４．発表年 2020年

１．発表者名 山中由里子
２．発表標題 自然界と想像界のあわいに漂うもの
３．学会等名 第１回人文知応援大会（招待講演）
４．発表年 2021年

１．発表者名 Yu Onuma
２．発表標題 “Earthly Paradise and Mandeville’s Travels”
３．学会等名 日本英文学会第92回全国大会シンポジウム「The Search for Paradise;The Otherworld in the Medieval European Imagination」（招待講演）
４．発表年 2020年

１．発表者名 大沼由布
２．発表標題 Gigantesの運命;古代中世ヨーロッパの巨人伝承の変遷
３．学会等名 日本中世英語英文学会 第36回全国大会 企画シンポジウム「ユダヤ・イスラーム・ヨーロッパ文化圏における巨人族表象の変遷」（招待講演）
４．発表年 2020年

１．発表者名 Norihito Hayashi
２．発表標題 Visual Images of Monstrous Creatures in the Medieval Islam: Were There Transmission of the Images between East and West?
３．学会等名 15th International SilkRoad Conference, International Black Sea University, Georgia（国際学会）
４．発表年 2020年

１．発表者名 安井眞奈美
２．発表標題 日本の図絵にみる病気平癒の民俗
３．学会等名 日文研一般公開「経験と記録」シンポジウム「疫病と治療を人文科学の立場から考える」（招待講演）
４．発表年 2020年

１．発表者名 安井眞奈美
２．発表標題 性差の民俗―胎児の性別占いと胎児観
３．学会等名 第15回人類学関連学会協議会（CARA）合同シンポジウム「性差」（招待講演）
４．発表年 2020年

１．発表者名 安井眞奈美
２．発表標題 絵馬に描かれた病いと身体
３．学会等名 国際交流基金ブダペスト日本文化センター　オンライン日本研究セミナー「日本社会論」（招待講演）（国際学会）
４．発表年 2021年

１．発表者名 Yuriko Yamanaka
２．発表標題 Witness of Wonders: Fragmented, Recycled, and Reorganized Alexander Narrative in Mediaeval Persian Encyclopaedia
３．学会等名 There was one, there wasn’t one: Modalities and challenges of the narrative in the Persianate world, INALCO, Paris（招待講演）（国際学会）
４．発表年 2019年

１．発表者名 山中由里子
２．発表標題 珍獣・霊獣・幻獣・怪獣――人はなぜモンスターを想像するのか？
３．学会等名 みんぱくゼミナール（国立民族学博物館）
４．発表年 2019年

１．発表者名 山中由里子
２．発表標題 めでたい！？めでたくない！？世界の人魚
３．学会等名 令和元年度斎宮歴史博物館歴史講座―第2回（招待講演）
４．発表年 2019年

１．発表者名 小松和彦
２．発表標題 日本妖怪文化史―絵画を中心に―
３．学会等名 金城学院大学日本語日本文化学会（春季大会）（招待講演）
４．発表年 2019年

１．発表者名 小松和彦
２．発表標題 妖怪学からみた「元型」をめぐって
３．学会等名 日本ユング心理学会（第８回大会）（招待講演）
４．発表年 2019年

１．発表者名 小松和彦
２．発表標題 いざなぎ流の祭文と儀礼
３．学会等名 中・近世日本の宗教者の実用知：テクスト・テクネ・図像　（パリ・ディドロ第7大学）（招待講演）（国際学会）
４．発表年 2019年

１．発表者名 小松和彦
２．発表標題 鬼のイメージとの起源と変貌
３．学会等名 世界鬼学会（招待講演）
４．発表年 2019年

１．発表者名 小松和彦
２．発表標題 妖怪は超自然か？
３．学会等名 この世のキワー自然と超自然のはざま（第37回人文機構シンポジウム）（招待講演）
４．発表年 2019年

１．発表者名 小松和彦
２．発表標題 民俗学における妖怪をめぐって
３．学会等名 第11回妖怪シンポジウムin岡山「民俗と妖怪」（京都先端科学大学人文学部歴史文化学科民俗学コース）（招待講演）
４．発表年 2020年

１．発表者名 安井眞奈美
２．発表標題 出産と妖怪―井上妖怪学から比較妖怪学へ
３．学会等名 ながおか史遊会　井上円了博士没後100周年特別記念講演会（招待講演）
４．発表年 2019年

１．発表者名 Manami Yasui
２．発表標題 Body Image in Yokai Illustrations: Considering the Yokai of the Eye
３．学会等名 Boundaries of the "Natural" and "Supernatural" National Museum of Ethnology, Osaka（招待講演）（国際学会）
４．発表年 2019年

１．発表者名 Manami Yasui
２．発表標題 Imaging the Spirit of a Deceased Pregnant Woman: Towards a Transcultural study of the Spiritual World
３．学会等名 The Sacred, Discrimination, and Spirits of the Dead in Japan, Columbia University（招待講演）（国際学会）
４．発表年 2019年

１．発表者名 Manami Yasui
２．発表標題 Becoming Yokai; Images and folktales of ubume
３．学会等名 Public lecture for Art Gallery of New South Wales, Sydney（招待講演）（国際学会）
４．発表年 2020年

１．発表者名 大沼由布
２．発表標題 西洋中世の百科事典の系譜
３．学会等名 第9回極東証券寄付講座「文献学の世界―書物と知の組織化」(慶應義塾大学)（招待講演）
４．発表年 2019年

１．発表者名 大沼由布
２．発表標題 The Great Khan: Observed and Imagined
３．学会等名 第10回日韓西洋中世史研究集会（招待講演）（国際学会）
４．発表年 2019年

１．発表者名 黒川正剛
２．発表標題 ヨーロッパにおける驚異とnature―近世から近代へ
３．学会等名 この世のキワー自然と超自然のはざま（第37回人文機構シンポジウム）（招待講演）
４．発表年 2019年

１．発表者名 佐々木聡
２．発表標題 『礼緯含文嘉』諸本と中国近世社会における占書の流布について
３．学会等名 北陸史学会第61回大会（石川県立歴史博物館）
４．発表年 2019年

１．発表者名 佐々木聡
２．発表標題 發病占研究與保護術數文獻的意義
３．学会等名 “從中古到近代寫本文化與跨文化交流”國際學術研討會（北京大學）（国際学会）
４．発表年 2019年

１．発表者名 Norihito Hayashi
２．発表標題 Paintings of Two Significant Islamic Manuscripts from the 15th Century Shamakha
３．学会等名 HALC 4th International Conference on History, Art, Literature and Culture in Black Sea Region and South Caucasus（国際学会）
４．発表年 2019年

１．発表者名 Norihito Hayashi
２．発表標題 Observations on the Illustrations of Monsters: The Earliest Images of Monstrous Races in al-Qazwini's Wonders of Creation
３．学会等名 Boundaries of the "Natural" and "Supernatural" National Museum of Ethnology, Osaka（国際学会）
４．発表年 2019年

１．発表者名 山中由里子
２．発表標題 歴史叙述の解体と再構成：中世イスラーム世界の博物誌におけるアレクサンドロス伝承
３．学会等名 西洋史研究会大会（招待講演）
４．発表年 2018年

１．発表者名 黒川正剛
２．発表標題 西洋近世のメディアにおける魔女と社会的周縁者
３．学会等名 日本宗教学会第77回学術大会
４．発表年 2018年

１．発表者名 大沼由布
２．発表標題 西洋中世の百科事典と自然の分類
３．学会等名 「驚異と怪異－想像界の比較研究」共同研究会
４．発表年 2018年

１．発表者名 佐々木聡
２．発表標題 清代における占病文化の変容：三十日病占から六十干支日病占へ
３．学会等名 国際シンポジウム「東アジアの歴史における病気治療と呪術」中国浙江省・浙江工商大学東方言語文化学院
４．発表年 2018年

〔図書〕　計24件

1．著者名 山中由里子	4．発行年 2024年
2．出版社 遊文舎	5．総ページ数 192
3．書名 国立民族学博物館 2019年秋の特別展「驚異と怪異――想像界の生きものたち」報告書	

1．著者名 小松和彦	4．発行年 2024年
2．出版社 Pogosa	5．総ページ数 360
3．書名 Jaenan-ui daejungmunhwa : jayeonjaehae・yeogbyeong・goei（『禍いの大衆文化 : 天災・疫病・怪異』韓国語訳）	

1．著者名 小松和彦・飯倉義之（監修）	4．発行年 2023年
2．出版社 宝島社	5．総ページ数 112
3．書名 日本の大妖怪 : 決定版	

1．著者名 小松和彦、安井眞奈美、 南郷晃子（共編）	4．発行年 2022年
2．出版社 せりか書房	5．総ページ数 320
3．書名 妖怪文化研究の新時代	

１．著者名 安井眞奈美，L．E．Marceau，宋丹丹（共編）	４．発行年 2024年
２．出版社 国際日本文化研究センター	５．総ページ数 60
３．書名 浮世絵にみる妊産婦と胎児の身体イメージ = Maternal health and images of the body in Japanese ukiyo-e	

１．著者名 安井眞奈美，A．D．H．Hernandez（共編）	４．発行年 2024年
２．出版社 Pogosa	５．総ページ数 357
３．書名 Sinche-ui daejung munhwa : guelida, ipda, nolae hada （『身体の大衆文化：描く・着る・歌う』）	

１．著者名 安井眞奈美、ローレス・マルソー（共編）	４．発行年 2022年
２．出版社 臨川書店	５．総ページ数 316
３．書名 想像する身体　上巻　身体イメージの変容	

１．著者名 安井眞奈美、ローレス・マルソー（共編）	４．発行年 2022年
２．出版社 臨川書店	５．総ページ数 334
３．書名 想像する身体　下巻　身体の未来へ	

１．著者名 大沼由布，徳永聡子編	４．発行年 2022年
２．出版社 知泉書館	５．総ページ数 302
３．書名 旅するナラティヴ―西洋中世をめぐる移動の諸相	

１．著者名 荒木浩・前川志織・木場貴俊編	４．発行年 2021年
２．出版社 KADOKAWA	５．総ページ数 370
３．書名 〈キャラクター〉の大衆文化　伝承・芸能・世界	

１．著者名 小松和彦、安井眞奈美、南郷晃子共編	４．発行年 2022年
２．出版社 せりか書房	５．総ページ数 312
３．書名 妖怪文化研究の新時代（妖怪文化叢書）	

１．著者名 安井眞奈美	４．発行年 2022年
２．出版社 平凡社	５．総ページ数 271
３．書名 狙われた身体――病いと妖怪とジェンダー	

１．著者名 安井眞奈美、エルナンデス・アルバロ共編	４．発行年 2022年
２．出版社 KADOKAWA	５．総ページ数 346
３．書名 身体の大衆文化　描く・着る・歌う	

１．著者名 安井眞奈美、ローレンス・マルソー、伊藤謙共編	４．発行年 2022年
２．出版社 国際日本文化研究センター	５．総ページ数 64
３．書名 身体イメージの創造　感染症事態に考える伝承・医療・アート	

１．著者名 山中由里子編、国立民族学博物館監修	４．発行年 2019年
２．出版社 河出書房新社	５．総ページ数 240
３．書名 驚異と怪異―想像界の生きものたち	

１．著者名 山中由里子、山田仁史　共編	４．発行年 2019年
２．出版社 勉誠出版	５．総ページ数 368
３．書名 この世のキワー＜自然＞の内と外	

１．著者名 小松和彦	４．発行年 2019年
２．出版社 宝島社	５．総ページ数 223
３．書名 カラー版　重ね地図で読み解く京都の「魔界」	

１．著者名 小松 和彦監修、中山 けーしょー	４．発行年 2019年
２．出版社 ほるぷ出版	５．総ページ数 64
３．書名 伝承や古典にのこる！　日本の怖い妖怪　里の妖怪たち	

１．著者名 小松 和彦監修、中山 けーしょー	４．発行年 2020年
２．出版社 ほるぷ出版	５．総ページ数 64
３．書名 伝承や古典にのこる！　日本の怖い妖怪　水辺と道の妖怪たち	

１．著者名 小松 和彦監修、中山 けーしょー	４．発行年 2020年
２．出版社 ほるぷ出版	５．総ページ数 64
３．書名 伝承や古典にのこる！　日本の怖い妖怪　山の妖怪たち	

１．著者名 Kazuhiko Komatsu ed.	４．発行年 2018年
２．出版社 出版文化産業振興財団	５．総ページ数 196
３．書名 Introduction to Yokai Culture: Monsters, Ghosts, and Outsiders in Japanese History	

１．著者名 小松和彦	４．発行年 2018年
２．出版社 角川書店	５．総ページ数 96
３．書名 妖怪たちのいるところ	

１．著者名 小松和彦	４．発行年 2018年
２．出版社 ＫＡＤＯＫＡＷＡ	５．総ページ数 272
３．書名 鬼と日本人	

１．著者名 黒川正剛	４．発行年 2018年
２．出版社 筑摩書房	５．総ページ数 256
３．書名 魔女・怪物・天変地異	

〔産業財産権〕

〔その他〕

驚異怪異
https://www.r.minpaku.ac.jp/ajaba/index.html
特別展「驚異と怪異―想像界の生きものたち」
https://older.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20190829kyoui/index
展覧会「身体イメージの創造」　感染症時代に考える伝承・医療・アート
https://www.museum.osaka-u.ac.jp/2022-01-06-15984/
オンラインミュージアム「浮世絵にみる妊産婦と胎児の身体イメージ」
https://www.nichibun.ac.jp/online/ucsf_maternal_health/
「東アジア怪異学会20周年記念展示 吉兆と魔除け」Web展示
https://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/gallery/202103_tenji00.html

６．研究組織

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
研究分担者	小松　和彦 (Komatsu Kazuhiko) (90111781)	国際日本文化研究センター・大学共同利用機関等の部局等・名誉教授 (64302)	
研究分担者	安井　眞奈美 (Yasui Manami) (40309513)	国際日本文化研究センター・研究部・教授 (64302)	
研究分担者	木場　貴俊 (Kiba Takatoshi) (40816287)	京都先端科学大学・人文学部・講師 (34303)	
研究分担者	佐々木　聡 (Sasaki Satoshi) (60704963)	金沢学院大学・文学部・准教授 (33305)	
研究分担者	大沼　由布 (Onuma Yu) (10546667)	同志社大学・文学部・教授 (34310)	

６．研究組織（つづき）

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
研究分担者	黒川　正剛 (Kurokawa Masatake) (30342231)	太成学院大学・人間学部・教授 (34432)	
研究分担者	林　則仁 (Hayashi Norihito) (20738215)	龍谷大学・国際学部・准教授 (34316)	
研究分担者	野元　晋 (Nomoto Shin) (10276420)	慶應義塾大学・言語文化研究所（三田）・教授 (32612)	
研究分担者	山田　仁史 (Yamada Hitoshi) (90422071)	東北大学・文学研究科・准教授 (11301)	削除：2021年3月24日

７．科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕　計2件

国際研究集会 Magic and the Manipulation of ‘Nature’ in Arabic, Persian, and Urdu Narratives	開催年 2023年～2023年
国際研究集会 Boundaries of the "Natural" and "Supernatural" National Museum of Ethnology, Osaka	開催年 2019年～2019年

８．本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関